

## 2022年参議院選挙にあたってのよびかけ

2022年6月17日 障害者(児)を守る全大阪連絡協議会幹事会

- 2022年7月10日投開票の予定で行われる参議院選挙は、日本の平和と社会保障の将来、そして私たちの未来にとって極めて重要な意義を持つ選挙となります。
- まず平和をめぐる問題です。いまロシアがウクライナに、国連憲章違反の軍事侵略を行っています。日本政府はそのことを持ち出して国民の「不安」をあおり、大軍拡キャンペーンを行っています。今後5年間で防衛予算をいまの2倍の11兆円にすることを目指すだけでなく“攻められる前に相手国を攻撃する”議論も始まっています。強大な軍事力で相手を脅しても、それだけで国民や領土を守ることはできません。関係諸国と平和に向けた対話を積み上げていくこと、主義主張の違いを前提とした相互理解を深めていくことが平和を築くための最大の保障です。かつて戦争への道に踏み出した時と同じ過ちをもう二度とくりかえさないために、私たちの貴重な一票を投じましょう。
- 社会保障も大きな岐路に立っています。莫大な防衛予算をねん出するためには、社会保障をはじめとする暮らしを支える制度を抑制しなければなりません。福祉、医療、保健、教育など、障害児者・家族にとっては、そのどれもが生きていくうえで欠かせない制度です。政府は介護保険サービスの利用者負担を原則2割とすることを表明しましたが、その流れはすぐに障害福祉にも及んでくるでしょう。自分らしくゆたかに生きていくことは、全ての人に保障された権利です。社会保障の後退に歯止めをかけ、それを必要とする人に十分に行き渡らすことができるよう、私たちの貴重な一票を投じましょう。
- コロナ禍で仕事が減って生活が大変、年金給付が下がったのに物価は急上昇など、深刻な生活危機が進行しています。こんな中でも政府は、莫大な株や資産を持っている人たちや巨大企業の利益を最優先して、庶民の暮らしへの支援は放置しています。私たちの暮らしを物価高から守る一番の対策は消費税の減税です。消費税の減税が実現すれば私たちの購買力が少しは持ち直します。何よりも庶民の暮らしを豊かにしていく政治を実現していくために、私たちの貴重な一票を投じましょう。
- 障害があることで、投票所に行きにくい人や投票所での対応に不安を感じておられる人もいらっしゃるでしょう。投票はすべての国民に与えられた大切な権利です。投票所で不便なことやいやなことがあったときには、行政がきちんと対応する責任を負います。自分だけでなく私たちにつながるすべての人たちが、投票を通して政治への意思をあたりまえに表明できる社会をつくるために、私たちの貴重な一票を投じましょう。